

情報公開に関する事項

【設置者に関する情報】

- ① 設置者の名称 : 香川県
② 主たる事務所の所在地及び連絡先 : 香川県高松市番町四丁目1番10号

【福祉系高校に関する情報】

- ① 名称、住所及び連絡先 : 香川県立高松南高等学校
香川県高松市一宮町531番地
TEL 087-885-1131
- ② 高等学校長の氏名 : 吉田 稔
- ③ 開設年月日 : 平成22年4月1日
- ④ 学則等

学則の主な項目	留意点
設置目的	福祉に関する知識と技術を習得させ、福祉の業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
修業年限	3年
学年、学期、休日	○学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる ○学年を分けて次の3学期に分ける 第1学期 4月1日から 8月31日まで 第2学期 9月1日から12月31日まで 第3学期 1月1日から 3月31日まで ○休日 休業日は、次のとおりとする 国民の祝日に関する法律に規定する休日、日曜日及び土曜日 学年始休業日 4月1日から4月5日まで 夏季休業日 7月21日から8月31日まで 冬季休業日 12月25日から翌年1月7日まで 学年末休業日 3月20日から3月31日まで 学校教育法施行規則に規定する学力検査を行う日及びその翌日 その他 教育委員会が指定する日
休学、退学、復学、編入学	○退学及び休学 生徒が病気又は他の理由で退学又は休学しようとするときは、所定の退学許可願又は休学許可願を校長に提出して許可を受けなければならない。休学の期間は3か月以上1年以内とする。ただし、校長は、特に必要があると認めるときに限り、その期間を2年まで延長することができる。 ○復学 休学中の生徒が復学しようとするときは、所定の復学許可願を校長に提出して許可を受けなければならない。 ○転入学
学習の評価(成績考査)	本校の第1学年の途中又は第2学年以上に入学を許可される者は、相当年齢

課程の修了の認定(卒業)	に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認められた者とする。本校への転入学を希望する者は、所定の願書にその事由を記載して、これを校長に提出しなければならない。 ○履修 本校の教育課程に定められた科目をすべて履修（必修）し、修得しなければならない。各科目の出席時間数が学校指定規則の定める時間数の3分の2（ただし、介護実習については5分の4）に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。 ○修得 成績の評価は、定期考査又は作品、実技・実習・報告書等の成績及び平素の成績をもって総合的に判定する。 ○卒業 全課程の修了が認定された者に卒業証書を授与する。
賞罰	校長は、教育上必要があると認めたときは、生徒をほう賞することができる。 校長及び教員は教育上必要があると認めるときは、生徒に懲戒を加えることができる。

香川県立高松南高等学校における介護福祉士養成課程に関する規程

(設置目的)

第1条 本校における介護福祉士養成課程（以下、介護福祉士養成課程という）は、校則に定める他、本規程の定めるところによる。

(養成課程及び履修方法)

第2条 介護福祉士国家試験受験資格取得のため、「社会福祉士介護福祉士学校指定規則」第八条第一号（別表第五）に定める養成課程を置くこととする。

2 生徒は教育課程の定めるところにより、規定された科目をすべて履修（必修）し、修得しなければならない。

3 前項の科目と単位数は別表のとおりとする。

(単位の認定)

第3条 学校指定規則別表第五に定める各科目の出席時間数が学校指定規則の定める時間数の3分の2（ただし、介護実習については5分の4）に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

⑤ 施設設備の概要 使用教室の名称及び面積など

教室等の名称	面 積	備 考	教室等の名称	面 積	備 考
普通教室1	60.4 m ²		演習室	45.1 m ²	
普通教室2	60.5 m ²		器材庫	36.6 m ²	
普通教室3	60.4 m ²		更衣室	35.5 m ²	
福祉総合実習室	128.1 m ²		大会議室	131.3 m ²	学内共用
準備室	32.0 m ²		相談室	31.7 m ²	学内共用
介護実習室	128.9 m ²		調理実習室	154.4 m ²	学内共用
和室	6 畳		被服実習室	122.4 m ²	学内共用
入浴実習室	57.6 m ²		図書室	220.21 m ²	学内共用
福祉科職員室	35.5 m ²		蔵書数	18,113 冊	学内共用

リネン室・洗濯室	32.0 m ²		事務室	60.5 m ²	学内共用
----------	---------------------	--	-----	---------------------	------

【養成課程に関する情報】

① 養成課程の教育課程表

令和4年度以降入学生

教 科		科目	1年	2年	3年	合計
国 語		現代の国語	2			2
		言語文化	2			2
		文学国語		2	2	4
地 理		地理総合		2		2
		歴史総合			2	2
公 民		公共	2			2
数 学		数学Ⅰ	2	2		4
理 科		科学と人間生活	2			2
		生物基礎			2	2
保健体育		体育	2	2	3	7
		保健		1		1
芸 術		音楽Ⅰ	○ 2			○ 2
		美術Ⅰ	○ 2			○ 2
		書道Ⅰ	○ 2			○ 2
外国語		英語コミュニケーションⅠ	3			3
		英語コミュニケーションⅡ		2	2	4
家 庭		家庭基礎		2		2
福 祉 社	人間と社会	社会福祉基礎	1	1	2	4
	介 護	介護福祉基礎	2	1	2	5
		コミュニケーション技術	1	1		2
		生活支援技術 (医療的ケアを含む)	4	3	3	10
		介護過程		2	2	4
		介護総合演習	1	1	1	3
		介護実習	3	5	5	13
	こころとからだの理解	こころとからだの理解	2	2	4	8
		福祉情報		2		2
特別活動		ホームルーム活動	1	1	1	3
総合的な探究の時間						
計			32	32	31	95

備考

代替

- ・「介護総合演習」の履修により「総合的な探究の時間」を代替する。
- ・「福祉情報」の履修により「情報Ⅰ」を代替する。
- ・「こころとからだの理解」の履修により「保健」を1単位代替する。
- ・記号○から1科目選択する

② 生徒定員・学級数：1学年30人 1学級×3学年 全3学級

③ 入学までの流れ（募集、申し込み、資料請求先）

- ・入学時期：入学式は原則として4月7日とする

- ・入学資格：学校教育法第57条の規定により高等学校に入学できる者 以下参照

【学校教育法第57条】

高等学校に入学できる者は、中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者若しくは中等教育学校の前期課程を修了した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。

- ・入学者の選考：県立学校学則第12条に基づく入学者選抜要綱による
- ・入学手続き：本校が定める「合格者のしおり」による

④ 費用

費目	第1学年	第2学年	第3学年	合計
入学検定料	2,200			2,200
入学金	5,650			5,650
授業料	118,800	118,800	118,800	356,400
実習費	4,000	3,000	3,000	10,000
施設維持費	0	0	0	0
その他諸費	143,409	100,812	84,739	328,960
合計	274,059	222,612	206,539	703,210

⑤ 科目名及び使用する教材

科目	使用する教材
社会福祉基礎	教科書 社会福祉基礎 (実教出版) 新課程 社会福祉基礎学習ノート (実教出版)
介護福祉基礎	教科書 介護福祉基礎 (実教出版)
コミュニケーション技術	教科書 コミュニケーション技術 (実教出版)
生活支援技術 (医療的ケアを含む)	教科書 生活支援技術 (実教出版) 最新 介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ (中央法規) 最新 介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ (中央法規) 最新 介護福祉士養成講座15 医療的ケア (中央法規)
介護過程	教科書 介護過程 (実教出版)
介護総合演習	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)
介護実習	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)
こころからだの理解	教科書 こころとからだの理解 (実教出版) 最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 (中央法規)

⑥ 教科担当教員

必置教員	氏 名	担当科目
	佐藤 果菜子	社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、介護過程、コミュニケーション技術、こころとからだの理解、介護総合演習、介護実習
	久富 祐子	社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、介護過程、コミュニケーション技術、こころとからだの理解、介護総合演習、介護実習
	藤井 真紗美	社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、介護過程、コミュニケーション技術、こころとからだの理解、介護総合演習、介護実習
	西川 舞	社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、介護過程、コミュニケーション技術、こころとからだの理解、介護総合演習、介護実習
	岡本 康平	社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、介護過程、コミュニケーション技術、こころとからだの理解、介護総合演習、介護実習
	山田 直人	社会福祉基礎、介護福祉基礎、生活支援技術、介護過程、コミュニケーション技術、こころとからだの理解、介護総合演習、介護実習
医療的ケアを担当する教員	平井 淳雄	生活支援技術
	細川 真規子	生活支援技術
その他の教員	岡林 好誠	公 共
	秋月 佳代子	家庭基礎

⑦ 介護実習施設等の名称住所及び事業内容

名称	住所	事業内容
特別養護老人ホーム ナウラテラス	香川県高松市松福町1丁目12番3号	介護保険事業
特別養護老人ホーム さぬき	香川県高松市中野町26-29	介護保険事業
特別養護老人ホーム 竜雲舜虹苑	香川県高松市仏生山町甲3100番地2	介護保険事業
特別養護老人ホーム サマリヤ	香川県高松市松並町573番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム さくら荘 特別養護老人ホーム さくら荘(ユニット型)	香川県高松市林町76番地14	介護保険事業
特別養護老人ホーム はなぞの園	香川県高松市上福岡町2004番地1	介護保険事業
特別養護老人ホーム おりいぶ荘	香川県高松市太田下町2020番地1	介護保険事業
特別養護老人ホーム 一宮の里	香川県高松市一宮町875番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム なでしこ香川	香川県高松市多肥上町1423番地1	介護保険事業
特別養護老人ホーム 玉藻荘	香川県高松市北浜町7番10号	介護保険事業
特別養護老人ホーム すみれ荘	香川県高松市十川西町1234番地1	介護保険事業
特別養護老人ホーム 扇寿	香川県高松市香南町横井492番地1	介護保険事業
通所リハビリテーション さつき荘	香川県高松市三谷町1680番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム 岡本荘	香川県高松市岡本町527番地1	介護保険事業
特別養護老人ホーム 法寿苑	香川県高松市木太町3308番地	介護保険事業
高松老人保健施設 フローラ	香川県高松市東ハゼ町830番地1	介護保険事業
介護老人保健施設 虹の里	香川県高松市栗林町1丁目3番24号	介護保険事業
介護老人保健施設 さつき荘	香川県高松市三谷町南原1680番地	介護保険事業

介護老人保健施設 サンフラワー	香川県高松市一宮町 1556-2	介護保険事業
特別養護老人ホーム さんさん荘	香川県高松市香川町川内原 1003-1	介護保険事業
介護老人保健施設 あやがわ	香川県綾歌郡綾川町陶 1720 番 1	介護保険事業
通所リハビリテーション あやがわ	香川県綾歌郡綾川町陶 1720 番 1	介護保険事業
通所リハビリテーション サンフラワー	香川県高松市一宮町 1556-2	介護保険事業
特別養護老人ホーム エデンの丘	香川県高松市鶴市町 1770-4	介護保険事業
特別養護老人ホーム シオンの丘ホーム	香川県高松市香西北町 260 番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム 桜樹苑	香川県高松市香川町浅野 1414 番地	介護保険事業
特別養護老人ホーム 大寿苑	香川県高松市鬼無町鬼無 882 番地 2	介護保険事業
介護老人保健施設 ハピネス	香川県高松市中山町 741 番 1	介護保険事業
デイケアサービス ハピネス	香川県高松市中山町 741 番 1	介護保険事業
ヘルパーステーション ハピネス	香川県高松市中山町 772 番地 1	介護保険事業
介護老人保健施設 渡の里	香川県高松市香川町浅野 2061 番地	介護保険事業
グループホーム オアシス香西	香川県高松市檀紙町 1452-1	介護保険事業
グループホーム 新番丁	香川県高松市番町 2 丁目 14-2	介護保険事業
特別養護老人ホーム きたまち苑	香川県高松市木太町 5113 番地 15	介護保険事業
介護老人保健施設 サンライズ屋島	香川県高松市新田町 2723-2	介護保険事業
介護老人保健施設 鮎の里	香川県高松市香川町川東上 150 番地 1	介護保険事業
介護老人保健施設 香南苑	香川県高松市香南町池内 701	介護保険事業
デイサービスセンター きたまち苑	香川県高松市木太町 5113 番地 15	老人デイサービス事業
デイサービスセンター さくら荘	香川県高松市林町 76 番地 14	老人デイサービス事業
デイサービスセンター おりいぶ荘	香川県高松市太田下町 2020 番地 1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター さぬき	香川県高松市宮脇町 2 丁目 37 番 21 号	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 竜雲舜虹苑	香川県高松市仏生山町甲 3100 番地 2	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 西春日	香川県高松市西春日町 1510-1	老人デイサービス事業
老人デイサービスセンター はなぞの園	香川県高松市上福岡町 2004 番地 1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 玉藻荘	香川県高松市北浜町 7 番 10 号	老人デイサービス事業
デイサービス 扇寿	香川県高松市香南町横井 492 番地 1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 岡本荘	香川県高松市岡本町 527 番地 1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 法寿苑	香川県高松市木太町 3308 番地	老人デイサービス事業
デイサービスセンター ナウラ	高松市松福町 1 丁目 12 番 3 号	老人デイサービス事業
地域密着型サービスデイサービス ぼっぼ藤塚	香川県高松市藤塚町 1-17-1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 一宮の里	香川県高松市一宮町 875 番地	老人デイサービス事業
老人デイサービスセンター さんさん荘	香川県高松市香川町川内原 1003-1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター シオンの丘	香川県高松市香西北町 260 番地	老人デイサービス事業
デイサービスセンター ヨハネの里	香川県高松市鶴市町 241 番地	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 桜樹苑	香川県高松市香川町浅野 1414 番地	老人デイサービス事業
デイサービス なでしこ香川	香川県高松市多肥上町 1423 番地 1	老人デイサービス事業
デイサービスセンター 大寿苑	香川県高松市鬼無町鬼無 882 番地 2	老人デイサービス事業
デイサービスセンター エデンの丘 えんがわ	香川県高松市鶴市町 1770 番地 4	老人デイサービス事業
デイサービスセンター すみれ荘	香川県十河西町 1234 番地 1	老人デイサービス事業
通所介護 高松市社会福祉協議会	香川県高松市福岡町 2 丁目 24 番 10 号	老人デイサービス事業
通所介護 高松市社会福祉協議会香川	香川県高松市香川町大野 451 番地	老人デイサービス事業
訪問介護 高松市社会福祉協議会	香川県高松市福岡町 2 丁目 24 番 10 号	訪問介護事業
訪問介護事業所 さぬき	香川県高松市宮脇町 2 丁目 37 番 21 号	訪問介護事業
訪問介護事業所 さくら荘	香川県高松市林町 76 番地 14	訪問介護事業
老人介護支援センター さぬき	香川県高松市宮脇町 2 丁目 37 番 21 号	訪問介護事業
訪問介護 特別養護老人ホーム 岡本荘	香川県高松市岡本町 527 番地 1	訪問介護事業

指定訪問介護事業所 すみれ荘	香川県十河西町 1234 番地 2	訪問介護事業
ヘルパーステーション ヨハネの里	香川県高松市鶴市町 241 番地	訪問介護事業
訪問介護事業所 桜樹苑	香川県高松市香川町浅野 1414 番地	訪問介護事業
高松市社会福祉協議会香川 訪問介護	香川県高松市香川町大野 451 番地	訪問介護事業
ヘルパーステーション 虹の里	香川県高松市栗林町 1-3-24	訪問介護事業
三木町社会福祉協議会 訪問介護	香川県木田郡三木町大字氷上 310 番地	訪問介護事業
綾川町社会福祉協議会 通所介護	香川県綾歌郡綾川町滝宮 276	訪問介護事業
綾川町社会福祉協議会 訪問介護	香川県綾歌郡綾川町滝宮 276	訪問介護事業
小規模多機能型居宅介護 えんぞ	香川県高松市西山崎町 196-2	訪問介護事業
香川県立川部 みどり園	香川県高松市川部町 418	障害福祉サービス事業
障害福祉サービス事業所 サン	香川県高松市春日町 813-10	障害福祉サービス事業
生活介護事業所（多機能型） Do やまびこ田村事業所	香川県高松市田村町 1010 番地	障害福祉サービス事業
障害者サービス 竜雲かしのき園	香川県高松市仏生山町甲 3207 番地 2	障害福祉サービス事業
障害者サービス 竜雲あけぼの学園	香川県高松市仏生山町甲 3208 番地 9	障害福祉サービス事業
香川県障害者支援施設 たまも園	香川県高松市田村町 797 番地	障害福祉サービス事業
障害者サービス かすがの里（生活介護）	香川県高松市春日町 1291-1	障害福祉サービス事業
障害福祉サービス事業所 すずらん（生活介護）	香川県前田東町 585 番地 5	障害福祉サービス事業
障害者サービス あゆみ園	香川県高松市勅使町 398-18	障害福祉サービス事業
かがわ総合リハビリテーション療養介護施設	香川県高松市田村町 1114	障害福祉サービス事業
多機能型事業所（生活介護 就労継続支援 B 型） 社会福祉法人銀河の会 ミルキーウェイ	香川県高松市三谷町 3518-16	障害福祉サービス事業
障害者施設サービス なかまの里	香川県高松市国分寺町新名 2209 番地 20	障害福祉サービス事業
障害者支援施設 サン未来	香川県高松市新田町 2717-1	障害福祉サービス事業
指定障害者支援施設障害者支援施設 ウインドヒル	香川県高松市三谷町 3851	障害福祉サービス事業
クリエイティブハウス 「パンジーV」	香川県高松市香西南町 518-1	障害福祉サービス事業

⑧ 介護実習の内容及び特徴

介護実習の実施時期

- ・介護実習の総合計単位数は13単位（455時間）とする。
- ・介護実習は、集中実習の形式をとり、教科の学習の進度に応じ、各学年毎に実習内容を分ける。なおこの間、他教科の授業に支障を生じさせないよう各教科担当者と綿密な調整を行う。

〈第1学年〉7月（1日間）、9月（5日間）、11月（5日間） 1月（4日間）

〈第2学年〉5月（4日間）、9月（4日間） 11月～12月（14日間）

〈第3学年〉5月・6月（19日間）

1 介護実習の目的

- （1）介護サービスを提供する対象、場によらず、あらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術を養う。
- （2）自立支援の観点から介護実践できる能力を養う。
- （3）利用者のみならず、家族等に対する精神的支援や援助のために、実践的なコミュニケーション能力を養う。
- （4）他職種協働やケアマネジメントなどの制度の仕組みを踏まえ、具体的な事例について介護過程を展開できる能力を養う。
- （5）リスクマネジメント等、利用者の安全に配慮した介護を実践する能力を養う。

2 全体目標

- （1）個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、他職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員として介護福祉士の役割について理解する。

(2) 個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。

③ 各段階における実習内容及び目標

1 介護実習Ⅰ（第一段階・第二段階・第三段階・第六段階）

(1) 実習内容

利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の暮らしの場と多様な生活支援の理解を中心とし、これらに併せて利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践、他職種協働の実践、生活支援技術の確認等を行う。

(2) 目標

- ① 介護サービスの利用者との出会い、その暮らしの場や生活支援の場を理解する。
- ② 利用者の状態像を観察するとともに、生活課題を理解することができる。
- ③ 安全と快適さに配慮した介護技術を実践することができる。
- ④ コミュニケーションの大切さを知り、対人関係を意識したコミュニケーションを取ることができる。
- ⑤ 利用者を取り巻く家族や近隣との関係に注目し、利用者を取り巻く社会の支援体制が理解できる。

2 介護実習Ⅱ（第四段階・第五段階）

(1) 実習内容

介護実習Ⅰでの体験を踏まえて、コミュニケーション技術や生活支援技術を用いて個別的な生活支援を展開する。利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった一連の介護過程の全てを継続的に実践する。

(2) 目標

- ① 観察、コミュニケーション、記録類を通じて介護に必要な情報が収集できる。
- ② 収集した情報の解釈、関連づけ、統合化をして利用者の生活課題を明確化できる。
- ③ 利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる。
- ④ 利用者や他職種とともに介護計画が立案できる。
- ⑤ 介護目標、具体的な支援内容が適切であったかの評価ができ、介護計画を修正する必要性が判断できる。

3 安全対策

(1) 事故防止

実習指導者の指示に従い、安全で無理のない介護を行う。事故が起こった場合は、ただちに職員に報告し指示を受けるとともに、学校にも連絡する。

(2) 感染症予防対策

感染症に対する正しい知識を持ち、利用者や自らの健康を守る。

- ① 感染予防として、手洗いやうがいを励行する。
- ② 皮膚からの感染を予防するために手指等に傷を作らないよう注意する。
- ③ 免疫力を維持するために、バランスの取れた食事や規則正しい生活を送る。

【実績に関する情報】

① 卒業生延べ人数：343人 令和5年度の卒業生含む

② 令和5年度 卒業生27人の進路の状況

進学者	福祉関係進学	就職者	福祉関係就職	無業者
16人	12人	11人	9人	0人

・就職先の施設種別および就職者数11人

社会福祉施設	老人保健施設	社協	その他	福祉関係以外
9人	0人	0人	0人	2人

・進学先の学校種別および進学者数16人

4年生大学	短期大学	専修各種学校
-------	------	--------

9 人	1 人	6 人
-----	-----	-----

③ 令和4年度介護福祉士国家試験

卒業者	受験資格取得者	受験者	筆記試験合格者	国家試験最終合格者
30 人	30 人	30 人	30 人	30 人